

## 工学部：機械航空工学科

### 【卒業要件：137単位】

1. 全学教育科目は、卒業要件として（イ）～（ホ）に従い、43単位以上を修得する。

（イ）教養教育科目は、以下の条件に従い、10単位以上を修得する。

コア教養科目の「人間と文化」、「文芸と人間」、「歴史の認識」の中から1科目2単位以上、

コア教養科目の「異文化の理解」、「現代の政治と法」、「現代の社会と経済」の中から1科目2単位以上、

コア教養科目の「地球と生命」、「数理と情報」、「物質の世界」の中から1科目2単位以上を修得する。

なお、コア教養科目の「医療と福祉」、「芸術とテクノロジー」については、1科目2単位に限り、コア教養科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

さらに、上記で修得した科目を除くコア教養科目および六本松地区で開講する個別教養科目の中から4単位以上を修得する。

（ロ）言語文化科目Ⅰでは、第1外国語6単位以上、第2外国語4単位以上を修得する。

英語科目として、「技術英語」が2年次後期以降に元岡地区で開講される。

（ハ）健康・スポーツ科学科目Ⅰでは、「健康・スポーツ科学講義」、「健康・スポーツ科学実習」を修得する。

（ニ）基礎科学科目Ⅰでは、必修科目19単位を修得する。

（ホ）情報処理科目Ⅰでは、「情報処理基礎演習」を修得する。

2. 専攻教育科目では、卒業要件として、入門科目を除いた低年次専攻教育科目を含めて84単位以上を修得する。

3. 工学部の卒業要件として、上記1および2の卒業要件の外に、総合選択履修方式により10単位以上を修得する。ただし、総合選択履修方式のうち8単位以上は工学部機械航空工学科（配属されるコース）の専攻教育科目以外から履修すること。

なお、総合選択履修の単位のうち4単位以上は3年次以降で修得することが望ましい。

総合選択履修方式の対象科目として次の科目が開講される。

「工学と倫理」、「工業マネジメント」、「製図」、「数理統計学概論」、「日本語コミュニケーション」、

「金属材料大意」、「機械工学・航空宇宙工学序論」、「工業数学演習」

4. 進級について

3年次以降に開講される専攻教育科目を履修するためには、2年次終了までに下記の条件を満たしておかなければならない。

① 総合選択履修方式により修得する科目を除く全学教育科目42単位以上を修得する。

② 総合選択履修方式により修得する科目のうち、基礎科学科目Ⅰを2単位以上、機械航空工学科の専攻教育科目（入門科目）を2単位以上修得する。

③ 2年次終了までに箱崎及び元岡地区において開講される専攻教育科目について別に定める単位数を修得する。

## 履修細目一覧（ 工学部：機械航空工学科 ）

区分	授業科目	最低修得単位数			受講 キャンパス		
		科目区分毎の 単位数	総合選択 履修方式	合計			
全 学 科 目	教 養 科 目	人間と文化(2) 文芸と人間(2) 歴史の認識(2) 異文化の理解(2) 現代の政治と法(2) 現代の社会と経済(2) 地球と生命(2) 数理と情報(2) 物質の世界(2) 上記で修得しなかったコア教養科目	医療と福祉(2) 芸術とテクノロジー(2) ※1	2単位 2単位 2単位	10単位	六本松	
		個別教養科目	六本松キャンパスで開講する科目	4単位			
		箱崎, 病院, 大橋, 元岡キャンパスで開講する科目 ※2					箱崎 病院 大元
		言語文化科目Ⅰ ※3	第1外国語 第2外国語	6単位 4単位			10単位 ※4
	健康・スポーツ科学科目Ⅰ	健康・スポーツ科学講義(2) 健康・スポーツ科学実習(1)	2単位 1単位				
	基礎科学科目Ⅰ	【必修科目】 線形代数A(1.5), 線形代数B(1.5), 微分積分A(1.5), 微分積分B(1.5), 力学基礎・同演習Ⅰ(1.5), 力学基礎・同演習Ⅱ(1.5), 電磁気学基礎(2), 物理学基礎実験(2), 基礎化学結合論(2), 微分積分統論(2), 図学(2) 製図(2) ※5	19単位				
	情報処理科目Ⅰ	情報処理基礎演習(1)	1単位				
	言語文化科目Ⅱ						
	健康・スポーツ科学科目Ⅱ						
	基礎科学科目Ⅱ	数理統計学概論(2) [機械工学コース] ※5					
	情報処理科目Ⅱ						
	外国語コミュニケーション科目						
	コミュニケーション科目	日本語コミュニケーション(1) ※5					
他専攻の専攻教育科目	金属材料大意(2) [航空宇宙工学コース] ※5						
低年次 (第1学期)	機械工学・航空宇宙工学序論(2) ※5 工業数学演習(1) ※5 工学入門(2)	84単位	箱崎 元岡				
(第2学期)	材料力学(2/4), 材料力学演習(1)						
(第3学期)	材料力学(2/4), 数学ⅠA(2)						
第4学期以降	工学部専攻教育科目履修の手引きを参照すること。						

※1 「医療と福祉」, 「芸術とテクノロジー」については, 1科目2単位に限り, コア教養科目のうちの不足する区分の単位とすることができる。

※2 個別教養科目として, 「工学と倫理」(2), 「工業マネジメント」(2)が3年次以降に元岡地区で開講される。

※3 言語文化科目Ⅰの英語科目として「技術英語」(1)が2年次後期以降に元岡地区で開講される。

※4 総合選択履修方式の10単位には, 科目区分毎の最低修得単位数分として履修した科目を除いて履修すること。  
総合選択履修方式において, 3年次以降に4単位以上履修することが望ましい。  
総合選択履修方式のうち8単位以上は自らの学部(学科, コース)の専攻教育科目以外から履修すること。

※5 総合選択履修方式の対象科目として次の科目が開講される。

「製図」(2), 「数理統計学概論」(2), 「日本語コミュニケーション」(1), 「金属材料大意」(2),  
「機械工学・航空宇宙工学序論」(2), 「工業数学演習」(1)